

カづけてくださる証し

教皇フランシスコの「喜びに喜べ」使徒的勧告から



「多くの司祭、修道者、信徒の模範が、わたしたちを突き動かしています。彼らは、固い忠実心をもって、時にはいのちを危険にさらし、当然自分の快適さを犠牲にして、(福音)告げ知らせ、奉仕するために身をささげた人たちです。彼らのあかしからは、教会が必要とするのは大勢の官僚や役人ではなく、まことのいのちを伝えることに燃えて献身する、熱い宣教者だということに気づかされます。聖人たちはわたしたちを驚かせ、衝撃を与えます。その生涯をもってわたしたちに、ぬるま湯につかり麻痺状態にある凡庸から抜け出さなさいと呼びかけているからです」(喜びに喜べ 138)。

「聖人」の証を思い起こしましょう

- アジア、特に日本の宣教にすべてを捧げた聖フランシスコ・ザビエル
- 神に信頼を置いて、信仰を証した殉教者たち
- 「蟻の町のマリア」と呼ばれるほど貧しい人々への奉仕のうちに
福音の喜びを味わった北原怜子
- 排除された人々に人間の温かさを感じさせ、
希望をもたらした聖マザーテレサ
- 毎日の生活の中で、福音に従って、
「共に」生きることを大事にしている多くの兄弟姉妹

一步踏み出すようにと聖霊に求められたときにためらうことのないよう、主に恵みを願いましょう。他者に福音を伝えるための、キリスト者の生き方を過去の遺物にしてしまわぬために、使徒としての勇気を願いましょう。復活したイエスを手掛かりとしてこれまでの歩みを考えられるよう、いかなるときにも聖霊に助けをいただきましょう。そうすれば、教会は、よどむことなく、主に驚かされ続けるでしょう」(教皇フランシスコ「喜びに喜べ」139)。



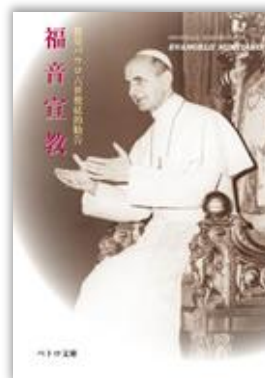
福音宣教特別月間

2019年10月20日 -

福音を伝えるために遣わされた教会

教皇聖パウロ六世使徒的勧告

EVANGELII NUNTIANDI (福音宣教について、14番から)



「神のよい知らせをのべなければならぬ」(ルカ 4, 43)と言われた救い主のみことばはまさに自分たちに与えられていることを教会はよく知り強く意識しています。「わたしが福音を告げ知らせしても、それは誇りにはなりません。そうせずにはいられないことだからです。福音を告げ知らせないならわたしは不幸なのです」(コリントの教会への第一の手紙 9, 16)と聖パウロとともに教会は喜んでつけ加えます。

1974年10月、シノドスの閉幕にあたって、司教たちは次のようなりっぱな声明を出したことは、わたしにとって大きな喜びであり、慰めでありました。「わたしたちは、すべての人々に福音をのべ伝えることが教会の第一かつ本来の使命であることを、ここに再び確認したいと思います」(シノドス声明文・4)。それは、今日、著しく変化しつつある社会では、命令かつ使命です。福音を伝えることは、実に教会自身の本性に深く根ざしたもつとも特有の恵みであり、召命です。教会はまさに福音をのべ伝えるために存在しています。」(教皇聖パウロ六世 使徒的勧告、EVANGELII NUNTIANDI (福音宣教について、14番から))

福音宣教者の模範であるマリア

ルカ 1、46-55 ・ マリアの賛歌

そこでマリアはいった。

「わたしは神をあがめ、わたしの心は神の救いに喜び
おどる。神は卑しいはしを顧みられ、

いつの代の人をもわたしをしあわせな者と呼ぶ。

神は わたしに偉大なわざを行われた。

その名はとうとく、あわれみは代々、神をおそれ敬う人
の上に。神はその力を現わし、思いあがる者を打ち砕

き、権力をふるう者をその座からおろし、見捨てられた人を高められる。

飢えに苦しむ人はよいもので満たされ、おごり暮らす者はむなしくな

帰る。神はいつくしみを忘れることなく、しもベイスラエルを助けられた。

わたしたちの祖先、アブラハムとその子孫に約束されたように。」



聖霊に満たされたマリアのことばから宣教の心を学ぶ

- マリアのように、宣教者はすべてが神の恵みによるものであることを知って、感謝に満ちた心で神を賛美する。
- 心のうちに深い痛みを感じながらマリアは周りに目を向ける。矛盾に満ちた現実が見える。貧しい人々と富んでいる人々、満腹している人々と飢えに苦しむ人々、圧迫されている人々と力をふるっている人々が見える。宣教者は、マリアのように、絶えず現実を福音的なまなざしで眺める。
- 神の訪れに心を開くことによってこの現実が変わるとマリアは宣言する。宣教者は、現実に変化をもたらす「福音」を信じて、人々と関わる。
- マリアは、神が慈しみ深い方で、いつからでも人々を心にとめてくださることを信じる。宣教者は、神に信頼を置いて、決してあきらめない。

祈りと振り返り

●振り返りのために

天の父よ、
マリアの心を聖霊で満たし、
あなたの子、イエスの母となさいました。
マリアと心を合わせて、
わたしたちは、彼女のことばを通して、
あなたを賛美し、救いのわざを思い起こします。
わたしたちの世界にあなたの心を痛める現実は多くあります。
貧困、暴力、差別などによって苦しんでいる人々が多いです。
また、希望を失って人生の道を
闇のうちに歩む兄弟姉妹は少なくありません。
闇に包まれている現実を福音の光で照らし、
争いによって苦しめられている人々に
イエスが約束された平和をもたらし、
絶望に陥っている兄弟姉妹に
イエスが差し伸べてくださる慈しみの手を感じさせる
共同体になるように教会を清め、導いてください。
福音宣教の炎をわたしたちの心に燃え立たせてください。

1. マリアの賛歌の中から、一番心に響いてくることばを、ゆっくり思いめぐらしてください。
 2. あなたの教会は、どのように福音宣教の使命を果たしているのでしょうか。
 3. より積極的に福音宣教に取り組むために、教会で変わらなければならないのは何でしょうか。
- 祈りのうちにこれらの点を考えてみる。神様に福音を証しし、のべ伝える恵みを願う。
 - 教会のさまざまなグループで、他の人々との分かち合いもできます。